

# 和室のある暮らし

和室があるとこんなに便利！  
 いろいろな「暮らし方」が可能になります。  
 暮らしのシーンに応じた様々な使い方を紹介します。



case  
1

暮らし方いろいろ

## リビングの延長としての『居間』

暮らしの  
Point



小さくてもよいから、  
 床座\*の生活スペースがあると便利です。  
 リビングとつなげて、  
 お昼寝・客間・節飾りの場などに使えます。  
 ときには、来客用の寝室にもなります。

\*床座(ゆかざ): 椅子やベッドを使わず直接床(板の間・畳)に座ること

リビングとつながった和室は、お子様のお昼寝に最適。リビングにしながら、家事をしながら、そっと様子を伺うことができます。

<参考プラン> No.26 (WA-EW110-3)



01

case  
2

暮らし方いろいろ

## 同居のための『寝室』

暮らしの  
Point



リビングから離れ独立して設ける和室は、プライバシーを確保した、同居のための寝室として利用できます。  
 また、将来は夫婦の寝室として使い、1フロアだけで生活が営めます。

独立した和室は、客間としても使えます。お客様をリビングに通すことなく、おちてなができます。急な来客にも慌てることがありません。

<参考プラン> No.10 (WA-S115-3)



case  
3

暮らし方いろいろ

## マルチスペースとしての『客間 & 寝室』

暮らしの  
Point



2way(2方向出入り)できる和室は、多目的に役立てて便利です。

- ①リビングの続き間として、
- ②ホールから直接出入りできるおもてなしの場(客間)として、様々な使い方ができます。  
 ときには、来客用の寝室にもなります。

ホールからの入口は、突然のお客様にも対応できます。リビングが子供のおもちゃでいつもいっぱい...そんな方も2wayの和室があれば安心です。

<参考プラン> No.49 (WA-N120)



02